



関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	子どもに実際に関わるスタッフこそが最もふさわしいものと把握し参画している	出来ている。継続して行っていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	相談支援員児童相談所等との連携はとり個人情報に気を付けながら支援に役立てている	今後はとっていききたいと思う。その情報を取り入れ、スタッフ全員に情報共有していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	4	地域とは中々連携は困難しかし看護師による子どもたちのバイタルを定期的に会社の取り組みとして行っている	充分とは言えないため、必ず保護者と連携した上で関係機関と必要に応じ連携を図るようにする
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3	主治医からの情報を保護者から必ず得て支援するようにしている。又事業所内での健康上の情報を保護者に伝えている	充分とは言えないため、必ず保護者と連携した上で関係機関と必要に応じ連携を図るようにする
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	児童発達支援事業所については情報提供してもらい引継ぎをしている。	連携を取りたいが、少なくとも関わりある施設には情報を提供してもらおうようにしているが不十分
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	同系列施設に、そのつど伝達し、情報共有している	同系列施設だけでなく、幅広く情報展開している
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	出来るだけコンタクトをとっている	色々な研修を受けてみたい
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	児童館等出活動を経験している	他の環境で交流する事が社会性にもつながるため積極的に取り組んでいきたい
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	近隣の大学と連携を取り、共同のイベントを開催している。	他系列と連携を促進していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0		出来ている。継続して行っていく
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	4	相談を受けて、支援を行っている	やりたいと思っているので、勉強会などして、知識を深めていきたいと考えている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0		出来ている。継続して行っていく
	33	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	1	ガイドラインについては保護者には理解できないため理解できる形での説明をしている	見学、契約の際に説明している
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	送迎時や、電話等利用して行う	時間を作りもっと面談の機会を設けていきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	父母の横のつながりが必要かどうかを保護者に聞くながら計画的に行うようにしている	父母会を早い時期に催す予定を立てている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	対応する事を、いち早く対処する様に努力し、実践している	出来ている。継続して行っていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	定期的は勿論、話し合える時間をフルに取り入れている	出来ている。継続して行っていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	全体共有とその都度確かめ、確認し易い状態にする	出来ている。継続して行っていく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	日常的に行う事が一番の基本と全体の問題とし、取り組んでいる	出来ている。継続して行っていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4		餅つき等定期的に行われる行事に、近隣の保育園等を呼んで、参加してもらおう。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	大まかにはあるが、詳細マニュアルを作る必要性ある。	災害、防犯、感染症等危機持ち計画的訓練する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	災害ボランティアを呼んで、パワーポイントやゲーム、避難方法等楽しく教授してもらって命に関わる事や必要対応に関しては必ず保護者から情報得る	出来ている。継続して行っていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0		出来ている。継続して行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		現在該当する利用者がいませんが、事前にする必要があるので、研修を行っていきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	なぜなぜ分析を用いて、一人一人の認識を高めていく。	日々スタッフの意識を高めるため、反省や今後の事を考える機会を設ける
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	複数の目で見えて支援する	研修を必ずしなくてはいけない
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3	身体拘束は避ける様にする方向での支援の仕方を考えたい	拘束対象者が今のところいないが他傷に関わるパニックに対する対応を考える必要がある

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。